

# 公現後第四主日礼拝

## 《主日朝礼拝式次第》

### 【入祭の部】

前 奏（黙祷）  
「天にいます私たちの父よ」  
クレープス・コラール前奏曲集より  
あいさつ  
讃 美 讃美歌 21/56番  
開会の祈り  
交 読 詩 篇 詩編 129 篇

### 【第一部 み言葉の礼拝】

聖 書  
+ 出エジプト記 20 章 1~7 節  
+ マタイ 4 章 1~11 節  
（旧約 P、新約 P）  
応 答 唱 讃美歌 21/38 番  
教 話 井上隆晶牧師  
『悪魔の誘惑』  
使徒信条

### 【第二部 聖餐礼拝】

奉 献 讃美歌 21/72 番  
教会の祈り（連祷）  
平和の挨拶  
讃 荣 讃美歌 21/83 番  
主のいのり  
陪 餐

### 【応答と派遣と祝福】

讃 美 讃美歌 21/549 番  
感謝の献物  
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番  
祝福の祈り 井上隆晶牧師  
後 奏（黙祷）  
「神は私の強い味方」  
（讃美歌 21 の 455 番）  
H・ペーター作曲

## 【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 屋宮英男  
奏 楽 飯田雅子  
献金当番 山千代誠子  
受付当番 澤田真弓

## 【本日の予定】

- ◇教会学校（朝 9 時 30 分）
  - ・お話し：澤田真弓
- ◇讃美歌練習（礼拝後）
- ◇合同祈祷会（礼拝後）
- ◇定例役員会（午後 1 時）

## 【今週の教会での集会のご案内】

- ◇朝の祈祷会
  - ・2月 5 日（木）午前 9 時
  - ・2月 6 日（金）午前 9 時
- \*今週は曜日が変わっています。  
ご注意ください。

## 【次週主日 2 月 8 日のご案内】

- ◇教会学校礼拝（午前 9 時 30 分）
  - ・お話し：井上隆晶牧師
- ◇主日朝礼拝（午前 10 時 30 分）
  - ・聖 書
  - + ホセア 6:1~6
  - + マタイ 9:9~13
  - ・教 話 井上隆晶牧師  
『罪人を招く神』
  - ・讃美歌 21 77、38、448
  - ・交説詩篇 詩編 130 篇
  - ・司式補佐 井上万里子
  - ・奏 楽 飯田雅子
  - ・献金当番 小渕公子
  - ・受付当番 澤田昌人
  - ◇讃美歌練習（礼拝後）
  - ◇合同祈祷会（礼拝後）
  - ◇伝道委員会（礼拝後）

## 聖 句

「人はパンだけで生きるものではない。  
神の口から出る一つ一つの言葉で生きる。」

（マタイ 4:4）

## 【諸報告・個人消息】

①《今週の井上牧師の予定》2 日（月）午前 10 時 30 分「大阪キリスト教連合会役員会」、3 日（火）午前 9 時 30 分「大宮保育園豆まき」、4 日（水）午後 2 時「大阪 YWCA 聖書を学ぶ会」、5 日（木）午後 1 時「家庭訪問」

②《2 月の教会行事予定》

- 2 月 1 日（日）午後 1 時「定例役員会」
- 2 月 4 日（水）午後 2 時「大阪 YWCA 聖書を学ぶ会」
- 2 月 8 日（日）礼拝後「伝道委員会」
- 2 月 15 日（日）午前 10 時 30 分「謝罪の祈祷・灰の式」
- 2 月 16 日（月）～4 月 4 日（土）「大斎・レント」
- 2 月 17 日（火）午前 10 時「心の病の勉強会」
- 2 月 22 日（日）午前 10 時 30 分「中部地区交換講壇」（大阪東十三教会：岡本寿吉牧師）

③先週 25 日（日）の宣教協議会では 20 名の方が参加され、新会堂建築についてさまざまな意見交換がなされました。引き続きお祈りをお願いいたします。

## ④【先週の集会統計】

日	集会	男子	女子	大人	計	礼拝献金
25	CS礼拝	—	1	7	8	¥2,850
	集会	男	女	子ども	計	礼拝献金
25	朝の礼拝	7	13	2	22	¥17,580
27	朝の祈り	1	2	—	3	
30	朝の祈り	2	3	—	5	

## ⑤【1/25 の献金報告】

[月定] 屋宮英男（計 10,000 円）[各種感謝] 井上万里子、屋宮英男、松岡昭（計 17,000 円）[互助] 屋宮英男（計 1,000 円）



## 【先週の説教要旨の続き】

③【良いものは後から与えられる】イエス様は「さあ、それをくんで宴会の世話役のところへ持って行きなさい」（2:8）と言うと、召し使いたちは水を世話役の所に運んで行きました。世話役はぶどう酒に変った水の味見をしました。聖書には、水がいつ、どのようにしてぶどう酒に変わったのかは書かれていません。書かれていなことは考えなくて良いということです。大切なことは人間の知らない所で、知らない内に神様はすばらしい業をして下さるということなのです。世話役は花婿を呼んで言いました。「誰でも初めに良いぶどう酒を出し、酔いがまわったころに劣ったものを出すのですが、あなたは良いぶどう酒を今まで取って置かれました。」（10節）「良いぶどう酒を今まで取って置かれました」という言葉は世話役の口を借りた預言であり、福音を表しているのです。

多くの人はこの世を誤解しています。良い物は先に与えられて、少しずつそれは減っていき、人生の終わりにはすべてを失うと思い込んでいますが、全くの逆です。最後に一番良い物が与えられるのです。神であるキリストは、良いものを天に取って置かれ、人間の労働が終わった後に提供されます。この良い物とは「永遠の命、キリストの似姿、朽ちない天の宝」と呼ばれるものです。先日、ある人が「実を結ぶってどういうこと？歳をとってわがままになつたらキリストのような実を結べないじゃないですか」と聞いてきました。今は労働の時であって、報いの時ではないのです。永遠の命という賃金は、この世の労働が終わってから支払われます。この世の内にキリストに似た実を結べなくとも、来世で結ぶのだと思います。この世では出来る限り、キリストに似ようと努力をすればよいのだと思います。この体に手を加え続け、来世ではばらしい実を受け継ぐのを楽しみにしてこの世を過ごしましょう。